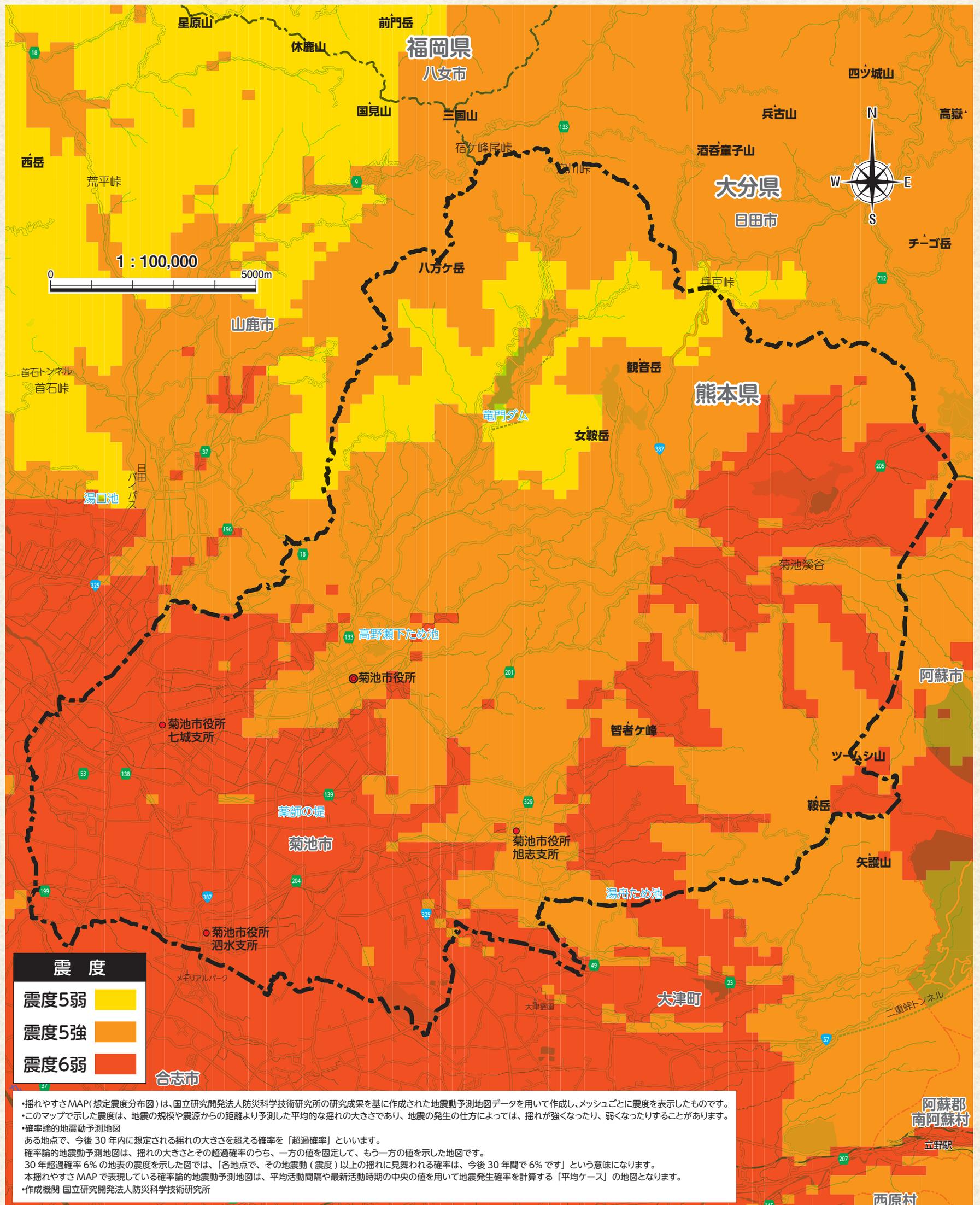


# 揺れやすさMAP



このMAPは、2022年より今後30年間に6%の確率で一定の揺れに見舞われる計測震度の領域図になります。



・揺れやすさMAP(想定震度分布図)は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の研究成果を基に作成された地震動予測地図データを用いて作成し、メッシュごとに震度を表示したものです。  
 ・このマップで示した震度は、地震の規模や震源からの距離より予測した平均的な揺れの大きさであり、地震の発生の仕方によっては、揺れが強くなったり、弱くなったりすることがあります。  
 ・確率論的地震動予測地図  
 ある地点で、今後30年以内に想定される揺れの大きさを超える確率を「超過確率」といいます。  
 確率論的地震動予測地図は、揺れの大きさとその超過確率のうち、一方の値を固定して、もう一方の値を示した地図です。  
 30年超過確率6%の地表の震度を示した図では、「各地点で、その地震動(震度)以上の揺れに見舞われる確率は、今後30年間で6%です」という意味になります。  
 本揺れやすさMAPで表現している確率論的地震動予測地図は、平均活動間隔や最新活動時期の中央の値を用いて地震発生確率を計算する「平均ケース」の地図となります。  
 ・作成機関 国立研究開発法人防災科学技術研究所